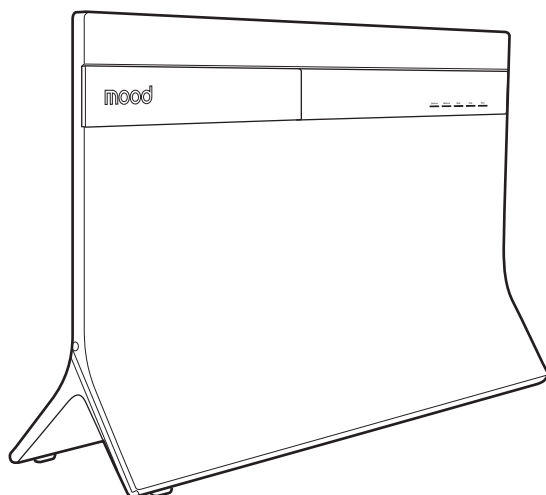


パネルヒーター MOD-PH1301

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意 P. 2～3
各部の名称とはたらき P. 4
正しい使いかた P. 5～8
お手入れと保存 P. 9～10
修理・サービスを依頼する前に P. 11
アフターサービスについて 裏表紙
保証書 裏表紙



仕 様

型 名	MOD-PH1301
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	強 1000W / 弱 500W
ヒーター	シーズヒーター
安全装置	転倒オフスイッチ（内蔵タイプ） / 温度ヒューズ / サーモスタット
電源コード長さ	約 1.8m
外形寸法	約 幅 670 × 奥行 183 × 高さ 430mm
質 量	約 5.6kg
付 属 品	リモコン本体 × 1、リモコン用コイン形リチウム電池（CR2025） × 1、取扱説明書・保証書 × 1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

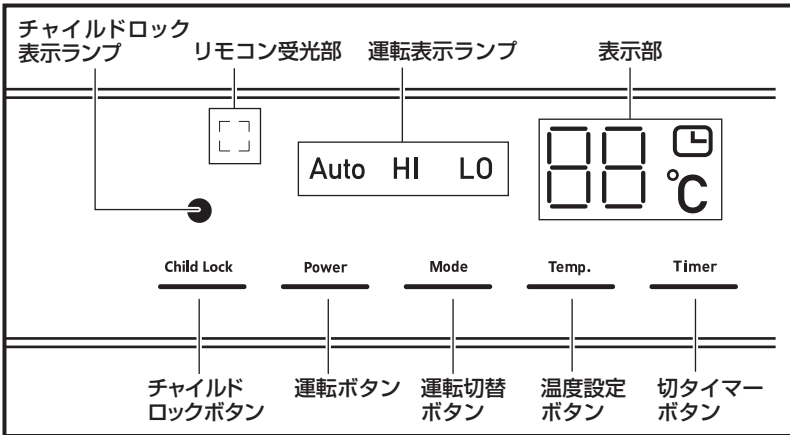
警告

 禁止	交流 100 V 以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		定格 15A 以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。	
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・感電の原因になります。	リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。		
	スプレー缶などを本体の近くに置かない。 爆発や火災の原因になります。	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャサービスセンター（裏表紙参照）にご相談ください。		
	本体に衣類やふとんなどを掛けて使用しない。 過熱や火災、やけどの原因になることがあります。	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。		
就寝中は使用しない。 寝具などが触れて火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	 使用禁止	可燃性ガス・腐食性ガスが発生する場所、たまる場所では使用しない。 割れ・穴あきが生じ、引火・漏電の原因になります。	
異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。			 使用禁止	

⚠ 注意

 禁止	お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてから行なう。 火災ややけどの原因になることがあります。	 禁止	リモコンの電池は直射日光があたる場所など高温になる場所に置かない、火の中に入れてない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。
	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。	 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になることがあります。		運転をする際は、必ずフィルターを取り付ける。 フィルターを取り付けずに運転すると、火災や故障の原因になることがあります。
	カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使わない。 火災の原因になることがあります。		リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや爆発の原因となります。
	乾燥など他の用途に使用しない。 過熱して発火の原因になることがあります。		長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておく、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。
	衣類や洗濯物をのせたり、かけたりしない 火災・感電・故障の原因になります。		リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。 電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	使用中は本体から離れない。 火災の原因になることがあります。		運転をする際は、必ずフィルターを取り付ける。 フィルターを取り付けずに運転すると、火災や故障の原因になることがあります。
	犬やネコなどのペット暖房用には使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。		電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		使用中、使用後しばらくは、放熱口やパネル上部、背面などの高温になる部分に触れない。 やけどの原因になります。
	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。		

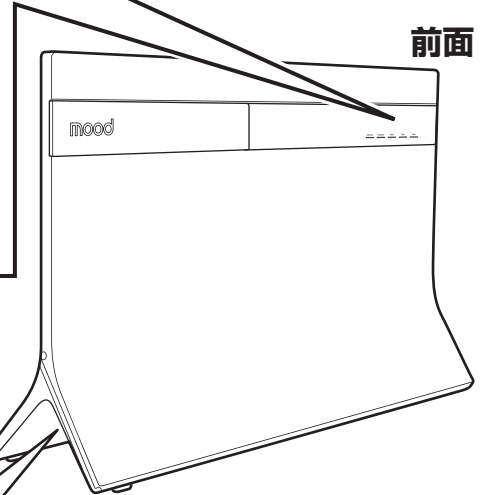
各部の名称とはたらき



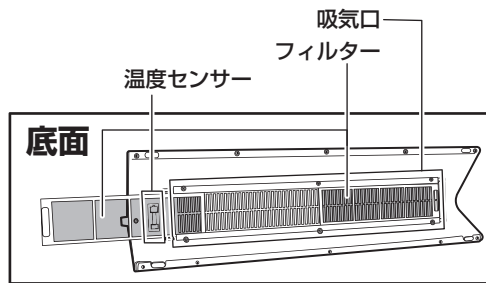
操作表示部

ボタンはタッチパネルになっており、触れると反応するようになっています。そのため、手袋をつけたまま操作すると反応しないことがあります。

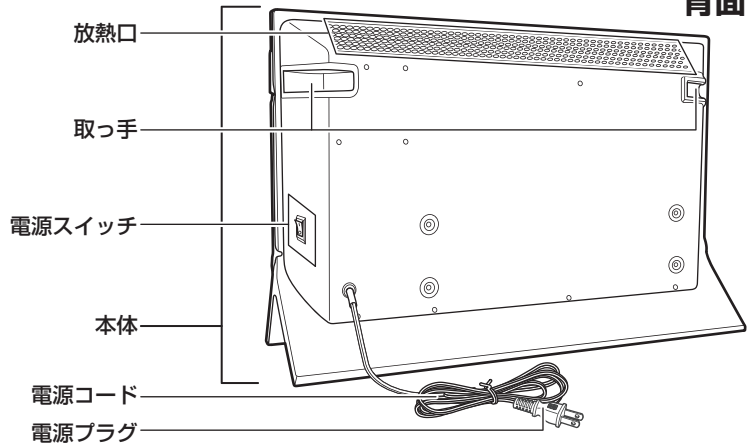
前面



底面は吸気口になっていてフィルターがセットされています。フィルターは左右に取りはずし可能です。



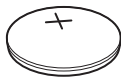
背面



付属品

リモコン× 1

ボタン形リチウム電池 (CR2025) × 1



安全装置について

- 使用中に転倒した場合は、転倒オフスイッチが働き電源を切ります。
- 温度が上昇しすぎると、サーモスタットが働き、自動的に運転を停止します。(温度が下がると運転を開始します。) さらに温度が上昇すると、温度ヒューズが働き、運転回路を遮断します。(温度が下がっても運転は開始されません。販売店またはドゥシヤサービスセンター (裏表紙参照) にご連絡ください。)

切り忘れ防止機能

本体またはリモコンを最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

⚠ 注意

- 使用中は本体から離れない。
- 本体を移動させる場合は、本体が冷めてから移動させる。
- 使用中や使用後しばらくは、放熱口やパネル上部、背面などの高温になる部分に触れない。

本体を動かすとカラカラと音がすることがありますが、これは転倒オフスイッチ (安全装置) の音であり、異常ではありません。

正しい使いかた

使用前の準備

リモコンに電池を入れる

1. 電池ボックスをリモコン本体から引き出す①

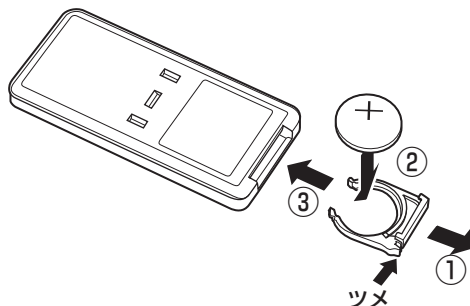
電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。

2. 電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスにセットする②

電池の⊕側を上にしてセットしてください。

3. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む③

カチッと音がするまで差し込んでください。



使用可能範囲

- 本体正面から直線で約 4 m
- 本体正面から左右に約 30 度
- リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- LED バックライトの液晶テレビがそばにあるとリモコンの受光感度が低下する場合があります。テレビの光が当たらない向きに本体を設置してください。

設置する

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください(右図)。

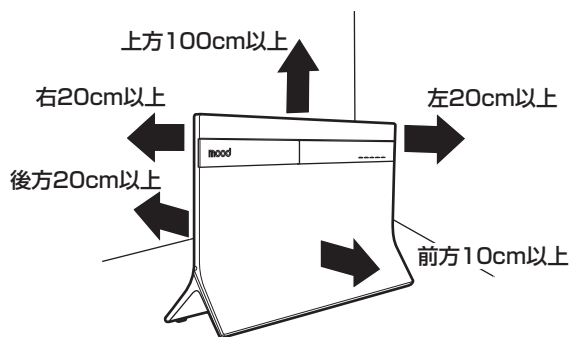
※ 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は、移動させてからご使用ください。

※ 本体を動かすとカラカラと音がすることがありますが、これは転倒オフスイッチ(安全装置)の音であり、異常ではありません。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください(火災の原因になります)

本製品の設置は以下の点に注意してください。



次のような場所では使用しないでください。

※ 毛足の長いカーペットや座布団の上などの不安定な場所(本体が傾いたり、浮いたりして、転倒や、転倒オフスイッチの誤動作の原因になります。)

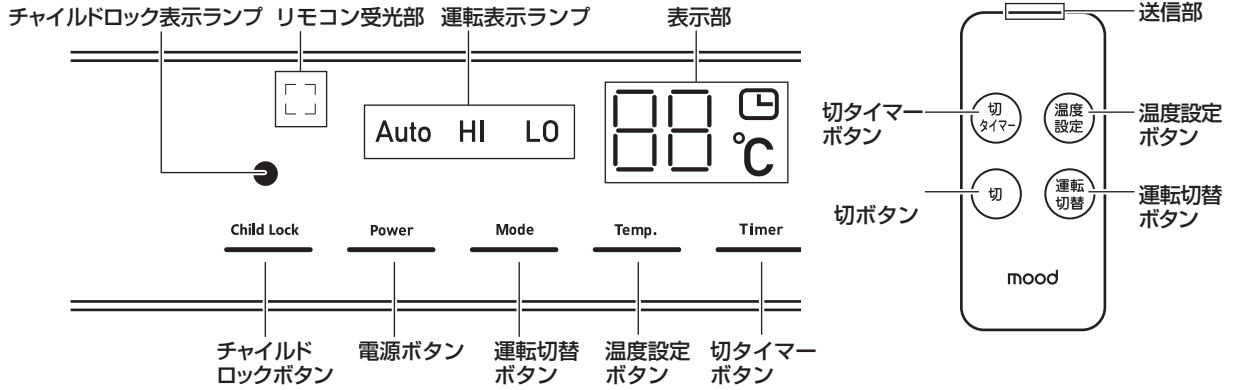


警告

- 定格 15A 以上の壁コンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
- 本体に衣類等をかけて使用しない。
火災ややけど、本機の故障の原因になります。
- 電源コードを束ねたまま使用しない。
電源コードの発熱、発火のおそれがあります。
- 外出などで本製品から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
安全装置が働いて、運転が停止していることがあります。温度が下がると、自動的に運転を開始しますので、消し忘れや火災の原因になります。

正しい使いかた

操作表示部



運転の開始／停止

1. 本体右下・後にある電源スイッチを「入」にする


ピッと音がして、表示部に「—」が表示されます。




2. 本体の電源ボタン **Power** を押して運転を開始する

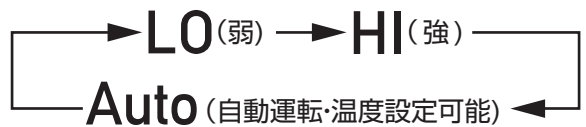
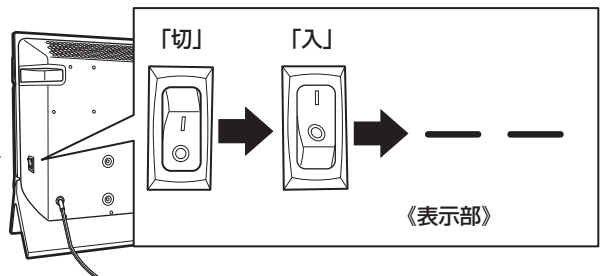
LO (弱) モードで運転が開始されます。
※ リモコンで運転の開始はできません。

3. 運転切替ボタン **Mode** (リモコン ) を押して運転モードを切り替える

運転切替ボタン **Mode** (リモコン ) を押すたびに運転モード・運転表示ランプが切り替わります。

4. (Auto(自動運転)にしたとき) 温度設定ボタン **Temp.** (リモコン ) を押して温度設定をする

- ① 温度設定ボタン **Temp.** (リモコン ) を押すと温度表示が点滅に変わり、24℃(初期設定)から温度設定ボタン **Temp.** (リモコン ) を押すたびに設定温度が1℃ずつ上昇します。
- ② 最高設定温度である30℃を超えると、最低設定温度である18℃に戻ります。
- ③ 設定したい温度が表示されたら、温度設定ボタン **Temp.** (リモコン ) を押すのをやめます。約10秒後に表示が点滅から点灯に変わります。
これで設定完了です。



運転モード	運転内容
LO	ヒーター弱 (500W) で運転
HI	ヒーター強 (1000W) で運転
Auto	自動運転。温度を設定 (18℃~30℃)。



- ④室温が設定温度より低い場合は、暖房運転を行い、高い場合は暖房運転を停止します。
 ※室温は製品に取り付けられている温度センサーが感知する製品周囲温度となります。

切り忘れ防止機能

本体またはリモコンを最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

5. 本体の電源ボタン ^{Power}、もしくはリモコンの切ボタン ^切 を押して運転を終了させる

6. 電源スイッチを「切」にして、電源コードを抜く



⚠注意

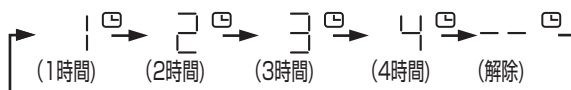
- 本体を移動させる場合は、本体が冷めてから移動させる。
- 使用中や使用後しばらくは、放熱口やパネル上部、背面などの高温になる部分に触れない。やけどの原因になります。

切タイマーを使用する

設定した時間に、運転が停止します。

1. 運転中に切タイマーボタン ^{Timer} (リモコン ^{切タイマー}) を押して運転停止までの時間をセットする

- ① 表示部に  が点滅を開始します。
- ② 切タイマーボタンを押すたびに設定時間が切り替わります。1時間単位で最大4時間まで設定することができます。設定をやめるときは  にします。設定したら、切タイマーボタン ^{Timer} (リモコン ^{切タイマー}) を押すか、そのまま約10秒間表示点滅させると、点灯に切り替わります。これで設定完了です。



切タイマー使用中も運転モードの切り替えやAuto(自動運転)の温度設定、タイマー時間変更の設定をすることができます。

正しい使いかた（つづき）

③ 運転しているときも、切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、切タイマーが働くまでの時間が表示されます。

- ・AUTO（自動運転）モードで運転しているときは、切タイマーの設定時間と設定温度が交互に表示されます。
- ・LO（弱）、HI（強）モードで運転しているときは、常時切タイマーの設定時間が表示されます。



切タイマーを解除するには

切タイマーボタン **Timer** (リモコン^⑧) を何度か押して表示をーにします。

切タイマーの時間を変更するには

切タイマーボタン **Timer** (リモコン^⑧) を押して、改めて運転停止までの時間を設定します。

チャイルドロックを使用する

幼児などが不用意にボタンに触れて設定が変わってしまうのを防ぎます。

1. 運転中に本体のチャイルドロックボタン **Child Lock** を長押し(5秒以上)する

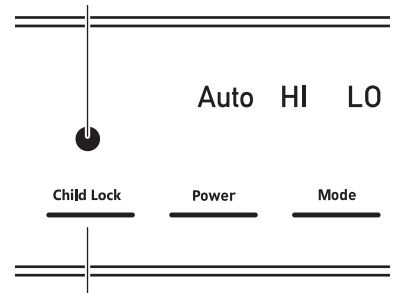
- ・「ピッ」と音がして、チャイルドロック表示ランプが点灯し、チャイルドロックが設定されます。
- ・この状態でボタンに触れても、設定が変更されることはありません。
- ・ただし、電源が切れるとチャイルドロックも解除になります。そのため転倒して転倒オフスイッチによって電源が切れると、チャイルドロックも解除になります。

2. チャイルドロックを解除するには、再度、本体のチャイルドロックボタン **Child Lock** を長押し(5秒以上)する

「ピッ」と音がしてチャイルドロック表示ランプが消灯し、チャイルドロックが解除されます。

※リモコンでチャイルドロックの設定・解除はできません。

チャイルドロック表示ランプ



チャイルドロックボタン

お手入れと保存



警告 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。
感電やけが、やけどの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きにしたがってください。
- 本体に直接、水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

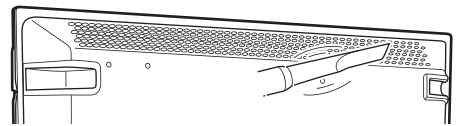
本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

※ 特に吸気口・放熱口まわりは(空気の流れがあるため)ほこりがたまりやすくなります。掃除機で吸うなどしてこまめにお手入れしてください。

放熱口のお手入れ

掃除機でホコリを吸い取ってください。

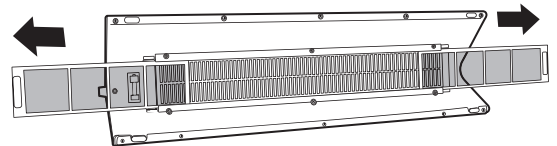
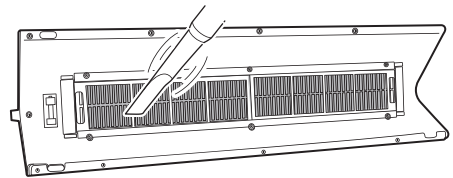


吸気口のお手入れ(1週間に1回)

下記の手順に従って行なってください。

- ① 本体を倒して吸気口が見えるように置く。
- ② 吸気口のフィルターのゴミやホコリを手や掃除機でいねいに取り除く。
- ③ 吸気口からフィルターを取りはずし、ゴミやホコリを手や掃除機でいねいに取り除く。
※ フィルターの汚れがひどい時は、ていねいに水洗い(手洗い)をしてください。
- ④ 吸気口にフィルターを取り付ける。
※ フィルターを水洗いした場合は、十分に乾燥させてから取り付けてください。

※ お手入れのあとは、必ずフィルターとフィルターカバーを本体に取り付けてください。



お手入れと保存（つづき）

フィルターの交換

フィルターをお求めの際は、本体お買い上げの販売店またはドウシシャサービスセンター（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※ フィルターは消耗品ですので、保証期間中でも「有料」とさせていただきます。

【フィルター】

破れたり、汚れがひどくなったり、紛失した場合は、フィルターを購入してください。

※ フィルターは水洗いできます。

商品名：フィルター

FT-FS03

メーカー希望小売価格¥800（税込）

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともに、湿気の少ない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかり差し込んでください
	・安定した水平な場所に置かれていない(転倒オフスイッチが働いている)	置き場所を確認し、安定した水平な場所に置いてください
	・安全装置(温度ヒューズ)が働いている(4ページ)	販売店またはドウシシャサービスセンター(裏表紙参照)にご連絡ください
運転が止まってしまった	・切タイマーで運転を停止させた	再度電源ボタン Power を押してください。
	・切り忘れ防止機能で運転停止した	最終操作から約12時間経過すると、運転が自動的に停止する機能で停止したので、再度電源ボタン Power を押してください。
においがする	・新品時に出る内部塗料などのにおい	使用とともに出なくなります
ボタンが反応しない	・チャイルドロックを設定している	チャイルドロックを解除してください
本体を動かすとかカラカラ音がする	・転倒オフスイッチの音	問題ありません
運転中内部からカチツとかジーツと音がする	・ヒーターの通電や膨張・収縮による音	問題ありません
暖かにならない	・運転モードがLO(弱)、もしくはAUTOで室温より低い温度に設定されている	AUTOで室温より高い温度に設定する
リモコンが動作しない	・電池が消耗している	新しい電池を入れてください(付属の電池は動作確認用です。新しい電池を入れてください)
	・リモコンの電池の極性⊕⊖を間違えている	リモコンの電池の極性⊕⊖を確認して、正しく入れなおす
	・リモコンの操作できる範囲外から操作している	本体の受光部に近づける、受光部に対して動作できる角度で操作する
	・チャイルドロックを設定している	チャイルドロックを解除してください

長年ご使用のヒーターはよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャサービスセンターに点検をご相談ください。